

【守護神とは】

- 人間を護^{まも}って下さっている国津神^{くにつかみ}から現津神^{あきつかみ}までの神々です。
通常は複数の人間を一名の神が掛け持ちして護^{まも}って下さっていますが、自分の分魂が地上に降臨している場合は、その人間を単独で護^{まも}って下さっています。
5 神の魂を持った人間から見た場合は、自分の本体という訳です。
- 基本的には自らの正体を明かすことはありません。
また、他人の守護神^{しゅごしん}を明かすことも、特別に『神』のお許し^{いただ}を戴かない限り、許されて
10 いません。

“私は「〇〇神^{しん}」だ！”などと大物の神の御名^{みな}を語る存在は、大部分は動物霊の狐（人間が転生した）^{まれ}ですが、希に人霊もいます。
その人霊は、熱心に宗教を信仰していた者の子が神を名乗ることがあります。

【龍神とは】

- 20 地上を人が住める環境に整える為に、地を固める役として活躍されました。
過去の地上に存在した恐竜の霊体^{れいたい}ではありません。

★ 龍神も色々な大きさの龍がいます。
胴体が小さいから子供の龍という訳ではありません。

- 金龍^{きんりゅう}… 霊的^{れいてき}
- 黒龍^{こくりゅう}… 暴力的
- 赤龍^{せきりゅう}… 共産的・エロ・グロ
- 白龍^{はくりゅう}… 神の使い
- 青龍^{せいりゅう}… 水の統御^{とうぎよ}

※平成21年5月17日までに龍神は全員国津神に神上がりし、龍神界は消滅しました。

【龍神が犯した罪】

- ① 言う事を聞かない人間や無礼を働いた人間を殺したり、大怪我^{かいこく}させて戒告したことになる三つの罪。
35 ※関連【男性の御神霊が犯した罪】《6 2 P》
 1. 『神』のお身体^{からだ}の一部を傷つけた罪
 2. 天国文明の建設要員を減らした罪
 3. 越権行為^{えつけんこうい}の罪⇒人間に対する戒告の理由は、龍神が住んでいた古井戸を無断で壊した事などです。
40
- ② 強大な力を持っていることで慢心して、自分より格上の神に対して歯向かった罪。
⇒不動明王の配下で御役を勤める国津神によって“龍”の名が付くお寺の本堂の下や、
神社の池などに封印されました。